

(様式2)

公の施設の指定管理者制度導入施設の管理運営状況調書【対象年度:令和7年度】

所管部・課 仙北市 市民福祉部 福祉政策課

指定管理者 株式会社 おもてなしせんぼく

1 施設名等

施設名	西木温泉ふれあいプラザ クリオン	施設の所在地	秋田県仙北市西木町門屋字屋敷田83-2
-----	------------------	--------	---------------------

2 施設の概要

設置年月	令和4年9月1日	根拠条例等	仙北市西木温泉ふれあいプラザクリオン条例
設置目的	市民の心身の保養及び健康増進を図り、併せて地域文化の発展に寄与するため、西木温泉ふれあいプラザクリオンを設置する。		
施設内容	大浴場(サウナ付)・小浴場・宿泊用客室・湯治用客室・大広間・多目的ホール(電動椅子付)・レストラン(2カ所)・温泉プール		
利用料金	仙北市西木温泉ふれあいプラザクリオン条例に基づく		

3 指定期間・選定方法

指定期間	令和4年 4月 1日 ~ 令和 9年 3月31日 (5年間)
選定方法	公募 (応募者数:1) ・ 非公募 (随意指定)

4 収支の状況(決算ベース)

※財源内訳 (①指定管理料のみ ②指定管理料+利用料金収入 ③利用料金収入のみ) (税込) (単位:千円)

項目/年度		令和6年度	令和7年度	項目/年度		令和6年度	令和7年度
収入	指定管理料	51,795	51,795	支出	維持管理費	113,978	114,626
	利用料金収入	106,702	115,875		事業費	0	0
	その他	0	6,000		その他	52,612	58,822
収入合計 ①		158,497	173,670	支出合計 ②		166,590	173,448
				収支差引(①-②)		-8,093	222

※臨時的経費除く。

5 指定管理者の業務内容

温泉宿泊施設の管理運営

6 利用実績等

(1)利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】 (単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度(A)	7,025	6,019	6,390	6,645	8,170	6,139	6,865	7,033	6,823	6,439	5,632	4,591	77,771
令和6年度(B)	7,240	6,271	6,583	6,607	7,602	6,311	7,081	7,052	6,759	3,536	1,310	4,463	70,815
(A)／(B)	97.0%	96.0%	97.1%	100.6%	107.5%	97.3%	96.9%	99.7%	100.9%	182.1%	429.9%	102.9%	109.8%

(2)利用料金収入(その他収入含)(税込) (単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度(A)	8,819	7,504	9,758	16,504	12,457	7,933	9,755	11,587	10,747	12,953	6,599	7,259	121,875
令和6年度(B)	8,777	6,971	8,084	7,349	11,051	7,598	10,373	11,609	11,082	11,992	4,096	7,720	106,702
(A)／(B)	100.5%	107.6%	120.7%	224.6%	112.7%	104.4%	94.0%	99.8%	97.0%	108.0%	161.1%	94.0%	114.2%

※1~3、5:所管課記入・4、6:指定管理者記入

7 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価記入) ※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課	
		評価	評価
施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書及び事業計画に基づいた管理運営を実施できた。	B	協定書、仕様書および事業計画に基づいた管理運営を実施したと認められる。
平等な利用の確保	地域内外の利用者にかかわらず平等な対応、サービスを行なうことができた。	B	宿泊者・温泉利用者のアンケート結果がどちらも好評価が多数であることから、平等な利用を確保できたと認められる。
利用者サービス向上の取組	利用者アンケートを実施し、お客様の声を把握し、また要望を直接聞くなどして速やかな対応に努めた。新たに温泉利用者向けのアンケートを実施した。	B	アンケートの対象を増やすなどして利用者の要望の把握に努めており、要望内容も設備に関することが大半を占めていることからサービスの提供は概ね満足いただいていることが伺える。
自主事業	年間営業計画を作り計画通り行なった。	B	営業計画のとおり実施されている。
職員・管理体制	事業計画書に基づいた職員配置及び管理を行なった。	B	適切な人員が適材適所に配置されている。
収支状況	収入173,670千円に対し、支出173,448千円となり222千円の黒字となった。	B	前年に引き続き大浴場の工事による営業の制限があったものの、黒字計上となったことに企業努力が認められる。今後も収益の確保に努め黒字継続を図っていただきたい。
今年度の取組(令和7年度)	お客様の安全・安心・清潔を基本とし、地域の人々に信頼され、親しみをもって利用していただける明るい快適な施設づくりに努めた。8月に発災した地元地域での大雨災害に際しては、市との連携のもと入浴支援を実施するなど、地域の生活を支える施設としての役割を果たした。		アンケート結果からも、利用者の安全・安心・清潔を基本とした明るい雰囲気施設の施設づくりができていていることが伺える。また、関連施設相互間の連携強化も図られている。
総合評価	おおむね協定書等に基づいた管理運営を実施できた。	B	おおむね協定書、仕様書等に基づいた適正な管理が行われたものと確認する。

〈指定管理者評価区分〉

- A: 仕様書等の内容を上回る成果であった。
 B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果であった。
 C: 仕様書等の内容を下回る項目があった。
 D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項があった。

〈所管課評価区分〉

- A: 仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われた。
 B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われた。
 C: 仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

8 制度の効果及び施設管理運営の課題

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課
制度の効果	お客様の目線にたった対応がスムーズにとれ、利用されているお客様の評価、信頼も上がっている。地元のお客様の利用が増えている。	関連施設との相互間協力ができており、災害対応等の不測の事態にも連携し柔軟な対応が出来ていることは、指定管理制度による効果と言える。
施設の管理運営の課題	施設のバリアフリー化、客室以外のトイレの洋式化、車椅子用トイレの施設整備が必要。施設内の給水、暖房関連の配管の漏水対策。施設内の照明のLED化。施設周りの敷地、駐車場等を含めた環境整備。客室、宴会場等の冷暖房機器の更新	施設整備については、今までも計画的に実施してきたが、市の指定管理者施設全体の状況も鑑みながら管理運営していく方針である。

※7～8: 指定管理者及び所管課記入